

平成27年度 第2回学校協議会 記録

I 日時：平成27年11月20日（金）15：30～17：00

II 場所：本校 高等部棟2階 図書室

III 参加者：

①学校協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川弘美 様
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
野志秀憲 様
社会福祉法人 一粒のからし種 グレース工房 理事長
福田章男 様
守口支援学校 学校医 森口久子 様
守口支援学校 P T A会長 古谷万里子 様

②学校協議会事務局 白木原校長 石原教頭（司会）佐野教頭 室田小学部主事（記録）
山本中学部主事（記録） 木村高等部主事 古賀進路副主事兼首席 各分掌部長
医療的ケア安全委員長

IV内容

1 校長挨拶

本校は開校20周年を迎え、7月30日にルミエールホールで式典を実施。委員の方々にもご参加を頂いた。児童生徒を含めて300名を超え、教職員100名を加えれば、400名を超える方々の参加があった。本日は学校経営計画の進捗状況を中心に進める。

2 学校協議会委員自己紹介、事務局紹介

3 会長挨拶 吉川弘美 様

文部科学省の概算要求のポイントでは、「学ぶ意欲と能力のある全ての子供・若者、社会人が質の高い教育を受け、一人一人がその能力を最大限伸長できる社会の実現」が挙げられている。守口市の小・中学校ではユニバーサルデザインの観点から授業改善に取り組み、支援教育がますます重要になってきている。

4 今年度の学校経営計画について 校長及び各分掌長

○4つの項目について挙げているが、特に2の安全安心な学校づくりについて、改善の取り組みをしてきた。

○各分掌が資料に沿って説明。

教務部) 進路部) 研究部) 健安部) 医ケア) 児生部) バス部) 支援部) 自活部) 情報部)

《協議会委員より》

提言)

医ケア実施者数について研修会に参加し複数教員が対応できる体制を整えていることはとても良い。不慮の事故では一人に対応することは困難。皆が同じ技量を持てるよう研修を重ねることが必要。

就労した卒業生に対する学校とハローワーク・ワークプラスとの連携や移行支援計画の活用は対象者のフォローアップに大きな役割を果たし、定着率の高さにも貢献している。

不審者対策模擬訓練について教員でロールプレイを実施しているとのことだが守口市でも警察の協力も得ながら実施している。訓練だけでなくその後のシュミレーションも重要である。

交通安全学習の指導に対して、自転車の乗り方に力を入れているとのことであるが、より基本的な、信号の見方・道路の渡り方についても指導が必要である。

質問)

不登校の児童生徒に対する指導方法と対応について教えてほしい。⇒今年度より福祉医療関係人材活用事業(臨床心理士)を利用し、集団になじめない生徒、不安感が大きい生徒の相談を実施している。

バス避難訓練・バス連絡会の実施方法について。⇒年1回グラウンドに全通学バスを整列させ、バス運転手・添乗員が児童生徒を安全に避難させる訓練を実施し、安全対策を検討している。

支援教育で使えるタブレットアプリについての情報提供を依頼。

5 授業アンケートの実施について 佐野教頭

例年実施。今年も6月に実施。

提出人数 各学部で声かけ。50～60%の提出率。昨年よりもアップ。

中学部・高等部は、生徒が半数から2/3提出。

授業評価 提出数はかなり増えたが、結果は昨年度とほとんど同じ。

100点満点にすると、小91点、中87点、高87点。

6 学校教育自己診断について 石原教頭

内容については、昨年度の第3回学校協議会で説明している。

質問項目は同じで実施。昨年度と比較するため。

実施期間は、12月1日(火)～12月18日(金)を予定。

今年度の第3回学校協議会でまた報告させていただく。

7 第3回学校協議会の予定について 石原教頭

平成28年2月22日(月)を予定